

としまち研掲示板

△▼△としまち研 各部会の次回開催予定△▼△

共同建替え部会	9月 9日 (火)
コーポラティブハウス部会	8月 25日 (月)
団地・マンション再生部会	8月 26日 (火)
人と暮らし部会	9月 18日 (木)
総務部会	
広報部会	

としまち研会員の方であれば誰でも部会に参加できますので、是非ご参加ください。

☆プロジェクトニュース☆

- 九段南コーポラティブハウスⅡ
8月30日(土)に引渡し予定です。
- コーポラティブハウス羽根木公園
8月に上棟を迎えます。
- ジークレフ駒場マンション建替え
建物名称を検討中です。



皆さんお疲れ様でした

人と暮らし部会：千桜小跡地イベントに参加
神田東松下町々会内にある旧千桜小学校跡地で7/18(金)に行われました「ありがとう千桜まつり～そして未来へ～」というイベントに、としまち研のひと暮らし部会が、石坂シェフをリーダーとして、「海鮮チヂミ」の屋台を出して参加しました。

千代田区が計画していた千桜小跡地に予定している区営住宅棟と民間住宅棟の建設事業が本格的にスタートすることが決まり、広場を使用した催し物が最後になるということで、神田駅東連合町会が主催したイベントでした。

当日の参加者は約1,000名。屋台のほかにやぐらを組んだ盆踊り、イベントの締めくくりには、花火大会も行われました。

海鮮チヂミの屋台は、140食を準備していましたが、めでたく盛況のうちに完売となりました。

としまち研会員募集

としまち研では、活動に参加して下さる方(正会員)や活動を応援して下さる方(賛助会員)を募集しています。

詳しくはとしまち研のホームページをご覧ください。

まちづくりのご相談は事務局へ

- 借入金があるが何か建替えの方法はあるか。
 - お隣りも建替えを考えているようだが共同建替えは自分たちでは調整できない。
- というような難しいご相談も検討します。
お気軽にご相談ください。

編集後記

暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

6月28日(土)に、KTハウス(神田司町)の10周年イベントが行われました。建設組合での事業期間中から現在まで、としまち研で撮りためていた写真をプロジェクターで映し出しながらの懇親会でした。皆さん恒例の1分間スピーチでは、10年前を振り返り、コーポラティブハウスに参加したいきさつや現在の生活についてお話をされていましたが、ほんとに10年経った今でも皆さんの結束力のすごさにとってもうれしくおいしいお酒をいただきました。(事務局 飛澤)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階
tel 03-5207-6277 fax 03-5294-7326
E-mail info@tmk-web.com ホームページ http://www.tmk-web.com/
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数
正会員 62人 賛助会員 35人
編集発行人 平石郁夫
事務局担当 飛澤玲奈

としまち研会報 第70号

おいらのまち

2014.7

発行 NPO 都市住宅とまちづくり研究会 理事会

災害公営住宅住戸位置決定！！

暑くなってきましたが、お元気にお過ごしのことと思います。今号も東日本大震災の被災地：東松島市の状況をお伝えします。

東松島市の被災者の集団移転先は7ヶ所、別に災害公営住宅だけの移転先も数か所あり、約250世帯は4月から入居しています。

先日、東北本線松島駅からの移動の途中で、規模の小さい5か所の集団移転先(宮戸の月浜、大浜、室浜、牛網、矢本西)を見て回りました。既に造成工事は完了し、それぞれ自分の住宅の建設を開始しています。

としまち研がまちづくり整備協議会の事務局をしている「あおい地区」は、まだまだ工事中ですが、昨年11月に決定した防災集団移転(自分で家を建てる)ゾーンの区画位置に続いて、災害公営住宅(市の建てた家を借りる)ゾーンでの住戸位置決めが行われました。



あおい地区：災害公営住宅建設の様子

区画決定手順と同様、まずは希望登録をしてもらい、希望が重複しなければ決定、重複した世帯は希望変更登録をもらう。変更して重複しなければ決定、それでも重複した世帯は「住戸位置決め調整会」を行い、重複した世帯だけ集まって、空いている住戸のなかで希望登録をもらい、話し合い、話し合いがつかなければ抽選で決めるという手順を踏みました。

6月29日(日)と7月13日(日)に「住戸位置決め調整会」が行われ、欠席16世帯を除いて、災害公営住宅入居希望世帯の住戸位置が決まりました。

これで、はじめから抽選を行うのではなく、各世帯の希望をできるだけ尊重して、区画位置や住戸位置を決める大仕事は一段落。被災者の皆さんも事務局・としまち研もホッとしました。もちろん、欠席16世帯への対応も忘れないようにします。

今後は、今年11月の災害公営住宅第I期47戸の入居までに、新たに設けられたコミュニティ推進部会を中心に、自治会の形態や自治会活動の基本的なところを決める検討がはじまっています。また、第I期入居には間に合いませんが、公共施設(公園、集会所など)の検討をする公共施設計画検討部会も東松島市から提示された基本案を踏まえて、検討をはじめました。(としまち研理事長 杉山昇)

おいらのひとりごと

『おいらのひとりごと』はとしまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

『母の宝石』としまち研 真木邦支

九十四才の母と同居して四年が経った。その母がくり返し話す時代がある。母は小石川の酒屋の長女に生まれた。虚弱体質で就職口が見つからなかったが、十六才の時、本郷弓町に居を構える弁護士宅に入った。仕事はお茶出しと子守のみで、やせ細った体はみるみる太り、機転が利くので重宝がられたと自慢している。二十四才で嫁ぐ時には婚礼道具一揃えと供に退職した。当時、弁護士先生は「阿部定事件」・「ソルゲ事件」の弁護人をしていて、阿部定の証拠写真が茶室に厳重に保管されていたのを、好奇心を抑えられず、こっそりと見たそう。その事を先日お孫さんに話したところ、その写真はプロに撮らせてよもや情報が漏れてはなるまいと、先生の弟さんが撮ったという逸話も飛び出した。多感な年頃に過ごした八年間は、その後の戦争や四人の子育てよりはるかに強く記憶され、母の海馬に宝石のように埋め込まれている。

※次号の『ひとりごと』は五十嵐賢博さんです。お楽しみに。

一木会ご報告（原則、毎月第一木曜日にCOMS HOUSEで行う勉強会・交流会です）

★第226回一木会（2014. 6. 5）

（株）リプラン事業企画部部長の樋口勝一氏に、珪藻土、無垢の床材などの自然素材や屋上緑化、緑のカーテンなどを採用する環境共生型の「エコヴィレッジシリーズ」のお話などをしていただきました。



全体も住戸内も、十分な検討を経て設計されている様子が伝わってきました。

★第227回一木会（2014. 7. 3）

弁護士の加藤伸樹氏に「コーポラティブハウスと信託」というテーマで、「信託ってなに？」という信託の仕組みから、活用の可能性についてお話をしていただきました。



コーポラティブハウス建設などに実際に活用するには今後検討が必要ですが、大いなる刺激をいただきました。

今後の一木会予定

～第228回一木会は公開勉強会です 2014年8月7日開催～

テーマ：「東日本大震災・福島原発災害と地域再生」

ゲスト：鈴木 浩 氏（明治大学客員教授＋福島大学名誉教授）

主な内容

- (1) 東日本大震災・福島原発災害～混迷する時代潮流のもとで
- (2) 混迷する時代潮流と社会風潮にどう立ち向かうか
- (3) 過酷な原発災害を背負って（一人ひとりの生活再建とふるさとの復興）
- (4) 世界との連帯～脱原発の道
- (5) コミュニティ再生と地方自治再生は地域再生の両輪

場 所 ワテラスコモン3階ワテラスコモンホール（東京都千代田区神田淡路町 101 番地）

時 間 午後6時30分～（午後6時00分開場）

参加費 1,000円

※詳細は、としまち研ホームページをご覧ください。お申し込みは、事務局まで。



第10回「神田を歩こう」が開催されました

5月31日（土）に10回目の「神田を歩こう」が開催されました。今回のテーマは「新・旧～新しくなった神田・大手町界わい～」ということで、東京駅をスタートし、平将門の首塚→大手町地区都市再生エリア→鎌倉橋を渡って美土代町で神田達磨本店のスイーツをおやつに一休み。その後、太田姫稲荷神社→定番のニコライ堂→新しくできた淡路町のワテラス→マーチエキュート→ゴールは柳森神社、といったルートを約3時間かけて歩きました。

10回目ということもあり、新しく参加していただいた方や何年かぶりに参加して下さった方、また、お子様連れのご家族など総勢30名を超える和気あいあいとしたまち歩きになりました。

ルート内の見学ポイントでは、神田を歩こう準備会メンバーの予習による詳しい説明や、ポイントごとに豆知識を披露して下さる参加者もいて、楽しく神田・大手町界わいを見て・聴いて回ることができました。

当日は天気良すぎて暑さ対策が必要なほどでしたが、歩いた後は冷たいビール（ノンアルコールの方も）で乾杯し、懇親会も盛り上がっていました。

次回の予定はまだ決まっていますが、必ず11回目を開催しますので楽しみにお待ちください。

（としまち研副理事長 坂口耕司）



スタート地点：東京駅で集合写真

（仮称）コーポラティブハウス羽根木公園 躯体見学体験記

6月29日（日）、梅雨の合間の晴れ間の中、1階+地下1階（メゾネット）の躯体見学会に参加してきました。11時に現場事務所に集合し、ヘルメットと軍手を手に、いざ出発！です。

図面で見えていた空間が初めて立体のものとして目の前に現れ、一気に具体的なイメージがわいてきました。地下は、想像していた以上に日当たりが良く、家族が集うリビングと、それに続くテラスコートにも期待が持てそうです。設計担当の方と確認しながら、「本当にここまで来たのだ...」という感慨に、一時浸りました。他の部屋にも出たり入ったりしながら、1時間があっという間に過ぎていきました。

このような経験は、まさにコーポラティブハウスならではの醍醐味です。今回の見学会により、現場工事・設計担当・コーディネータなど関係各位への謝意をあらたにし、組合員の方々とのコミュニティ形成について、これまで以上に意識するようになりました。次回の内覧会が楽しみです。（建設組合員 小野寺桃子）



躯体見学の様子

第3回防災対策交流会を開催しました

6月21日（土）に、コーポラティブハウスにお住まいの方、これから入居の方を対象として、第3回防災対策情報交流会を開催しました。

防災対策情報交流会は、コーポラティブハウスにお住まいの方々からの要望がきっかけとなり、大地震等の災害に備えてコーポラティブハウスでの防災対策について意見交換を行うことを目的に、昨年発足しました。

これまでに、第1回：千代田区の助成制度を利用した防災備品購入の検討、第2回：防災用品専門会社による管理組合にお勧めの防災グッズの紹介等を行ってまいりましたが、3回目の今回は、実際に千代田区内のコーポラティブハウスで、区の助成を受けて防災用品を購入された管理組合の皆さんから、購入された防災用品について報告していただきました。

階段を使って要介護者を運ぶ「かけモック」（写真）という商品や、閉じ込めがあった部屋からの救出に使う「ボール」や「ボルトクリッパー」等、震災時に直ぐ役立つようなグッズばかりで、ほかの建物の皆さんもとても関心をもっているようでした。

としまち研からは、コーポラティブハウスに向けた「防災マニュアル」案を提案し、コーポラティブハウスで大地震に遭遇したときに、在宅の住民の皆さんが互いに助け合ってどのような行動をすればよいのかについてイメージしてもらい、意見交換をしました。

次回の開催日程は未定ですが、引き続き、防災に関する話題に終わりはありませぬので、日ごろの準備をすべく、皆さんで情報交換・交流していきたいと考えています。（としまち研理事 市野恵司）



かけモックを紹介する
坂の上テラスの本田さん
（写真右から2番目）

こはす：花壇の石積み作業を行いました

6月15日（日）、神田東松下町の「こはす」で、花壇の石積みをしました。玄関脇の花壇は土が浅く、秋に子供達がチューリップの球根を植える時には苦労していました。そこで花壇のまわりの石積みをかさ上げすることにしました。

作業は、セメントと砂を水でこねるところから始まりました。電動ミキサー他、管理組合理事長がピシッと手筈を整えて、完璧なモルタルが用意されました。ここで子供達が登場、四角い石（ピンコロ石）を並べて、その隙間を左官屋さんのようにモルタルで埋めていきます。和気あいあいと作業が進むうち、いつの間にか大人達も真剣な面持ちで石積みの仕上げに加わり、後片付けには高圧洗浄機も登場。思ったよりも長引いた作業を、大人力で押し切りました。

終了後はもちろん近所の居酒屋さんで懇親会。新しく加わった方も交えて、親睦を深めた一日でした。

（こはすイベント委員長 塙隆二）



がんばる子供たち